

第1学年 国語科学習指導案

日 時：令和6年2月8日(木) 5校時  
場 所：1年寛典学級教室  
授業者：吉 田 寛 典

I 単元名 くらべて よもう～どうぶつの赤ちゃんものりしりはかせになろう～  
中心学習材 どうぶつの 赤ちゃん (光村図書 1年下)

II 単元の目標

- 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。  
[知識及び技能] (2) ア
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えることができる。  
[思考力, 判断力, 表現力等] C (1) ア
- ◎ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。  
[思考力, 判断力, 表現力等] C (1) ウ
- 言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力, 人間性等」

III 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア	① 「読むこと」において, 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えている。 C (1) ア ② 「読むこと」において, 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 C (1) ウ	① 言葉を通じて, 積極的に人と関わったり, 文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしながら, 学習課題に沿って, 紹介カードを作ろうとしている。

IV 単元の指導及び評価の計画 (全10時間)

次	時	○学習活動	◆研究の手立て	評価規準 評価方法
1	1	○ 初発の感想を交流するとともに, 言語活動モデルを提示し, 単元の学習課題を設定する。  どうぶつの赤ちゃんものりしりはかせになろう。	<b>【手立て1 問いを追究する複線型の単元構想】</b> ◆ 初発の感想を交流する際に, ライオンの赤ちゃんとしままの赤ちゃんの違いに目を向けるようにする。「ライオンの赤ちゃんとしままの赤ちゃんではどんな違いがあるのかな」という疑問を共有し, 学級全体で考えたい問いとして設定する。 ◆ 言語活動モデルを提示し, 「作ってみたい」「いろいろな動物も調べてみたい」という活動意欲を醸成し, 単元の学習課題を設定していく。	
	2	○ 内容の大体を捉える。 ○ 問いの文を捉える。		
2	3	○ ライオンの赤ちゃんの生まれたときの様子を捉える。	<b>【手立て1 問いを追究する複線型の単元構想】</b> ◆ 課題を解決する際に, 調べる資料や交流する相手を自己選択・自己決定するようにする。	<b>【思考・判断・表現①】</b> 発言・記述 時間を表す言葉に着目し, 赤ちゃんの成長と時間の経過の結び付きを捉えているかの確認。
	4	○ ライオンの赤ちゃんが大きくなっていく様子を捉える。		
	5	○ しままの赤ちゃんの生まれたときと大きくなっていく様子を捉える。		
	6 本時	○ ライオンの赤ちゃんとしままの赤ちゃんでどんな違いがあるのかを考える。	<b>【知識・技能①】</b> 発言・記述 ライオンとしままを比較し, 相違点を見つけているかの確認。	
3	7	○ カンガルーの文章を読み, 紹介カードを作る。		<b>【思考・判断・表現②】</b> 発言・記述 生まれたばかりの様子や, 大きくなっていく様子を叙述から捉えているかの確認。
	8 9	○ 動物の赤ちゃんについて書かれた本から好きなものを選び, 紹介カードを作って紹介する。	<b>【手立て1 問いを追究する複線型の単元構想】</b> ◆ 動物の赤ちゃんについて書かれた本を自己選択・自己決定し, カードを交流するようにする。	<b>【主体的に学習に取り組む態度①】</b> 観察・発言・記述 積極的に人と関わったり, 文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしながら, 学習課題に沿って, 紹介カードを作ろうとしているかの確認。
	10	○ 単元の振り返りをする。	<b>【手立て1 問いを追究する複線型の単元構想】</b> ◆ 単元を通して, 「分かったこと」「できるようになったこと」を振り返り, 学びを実感するようにする。	

V 本時の指導

1 目標

- 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- ・ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

2 評価規準

- ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんを比べることを通して, それぞれの違いを見つけている。
- ・ ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんを比べるために, それぞれの動物の生まれたばかりの様子や大きくなっていく様子を叙述から選び出している。

<努力を要する状況の児童への手立て>

教師と共に, ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子や大きくなっていく様子について対応して振り返り, 相違点について考えることができるようにする。

3 展開 (6 / 10 時)

段階	学習活動 ○ 発問	時間	◆ 研究にかかわる手立て ・ 予想される子どもの反応	・ 留意点 評価
導入	1 学習課題の把握 ・ 前時までの学習を振り返る。	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しまうまの赤ちゃんは, すぐに立ったりえさを食べたりしていたよ。</li> <li>・ ライオンとしまうまの赤ちゃんでは, どんなところが違うのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁面掲示をもとに, しまうまの赤ちゃんの様子を振り返るようにする。</li> </ul>
	2 学習課題の設定  ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんでは, どんなちがいがあがあるのかな。	2		
展開	3 課題の解決の見通し ・ それぞれの赤ちゃんの生まれたばかりの様子と大きくなっていく様子について振り返る。	3	<p>【手立て1 問いを追究する複線型の単元構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 個人の考えをまとめる際に, 調べる資料や交流する相手を自己選択・自己決定し, 相違点について多面的に考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁面掲示をもとに振り返ることで, ライオンとしまうまを対応して見る見方を捉えるようにする。</li> <li>・ 手が止まっている子どもには, 教師とともに内容を振り返りながら, 考えを整理するようにする。</li> <li>・ 交流する友達が多様になるように促すようにする。</li> <li>・ 「どこからそう思ったのか」「どうしてそう思ったのか」と問うことで, 子どもたちの考えを板書に可視化するとともに, 考えの根拠が明確になるようにする。</li> </ul>
	4 学習課題を解決する (1) 個人の考えをまとめ, 交流する。 ・ ライオンとしまうまを比較し, 相違点を見つけ出す。 ・ 友達と交流し, 考えを聞き合う。	15	<p>生まれたばかりの様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体の大きさの違い。</li> <li>・ 立ち始める時の違い。</li> <li>・ 親と似ているかの違い。</li> </ul> <p>大きくなっていく様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お乳を飲んでる時の違い。</li> <li>・ えさを食べ始める時の違い。</li> </ul>	
	(2) 読み深め合う ・ ライオンとしまうまを比較し, 相違点を見つけ出す。 ○ ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんでは, どんな違いがありますか。  思考が深まる学習活動 ○ なぜ, ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんでは違うのでしょうか。	15	<p>【手立て2 思考が深まる学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「なぜ違いがあるのか」と問うことを通して, ライオンは捕食者であり, しまうまは捕食される対象であることを叙述から捉えるようにする。</li> </ul>	
終末	5 振り返り ・ 本時の学びを振り返り, 分かったことやこれから考えたいことを考える。 ・ 振り返ったことを共有する。	5	<p>期待する子どもの振り返り例</p> <p>ライオンとしまうまでは, 成長の仕方に違いがあることが分かりました。 これから他の動物ではどうなのか調べてみたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時を通して分かったことや変容した考えを共有し, 学びの深まりを実感できるようにする。</li> </ul>
	6 次時の学習の見通し ・ 他の動物の赤ちゃんはどのような様子なのか, どのように大きくなっていくのか調べることを見通す。	3		